

令和5年12月定例会における結果および討論

請願第3-2号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願(東海村商工会)

賛成

新政とうかい 河野健一

請願では、原子力発電は温暖化ガス排出削減に貢献し、エネルギー資源に乏しく電力自給率の低い我が国にとって、ベースロード電源として期待でき、重要性は一段と高まっていると述べている。同様の考えから賛成。

採択

村上 孝

JCOの事故で自宅退避、2名死亡、667名被ばく、福島第一原発は東日本大震災で大災害が起きた。現在セシウム137は半減期20年かかる。東海第二原発は防潮堤で問題になっている。再稼働すべきでない。

反対

請願第3-7号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願(東海村環境整備事業協会)

賛成

新政とうかい 三上 修

東日本大震災以降、大型電源が停止して電力供給が不安定な状況下、輸入依存の地球環境に影響を及ぼす化石燃料が高騰、日本経済は物価高騰が続く国力は低下。脱炭素社会と安定電源確保が可能な行動に移行すべき。

採択

阿部功志

請願は地域活性化の根拠もなく、避難計画の問題に無関心。再生可能エネルギーを否定し、原発事故の時の責任問題や避難困難な住民に思いが及んでいない。原発の危険性など都合の悪いことに目を向けようとしていない。

反対

請願第4-1号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働に反対する意見書の提出を求める請願(東海第二発電所の再稼働に反対する会)

反対

新政とうかい 舛井文夫

日本の原子力の発祥の地として、60年以上に渡り原子力企業と共存共栄してきた本村が果たしてきた歴史的な役割を一番大切に考える。カーボンニュートラルに貢献できる原子力を活用することが必要不可欠と考える。

不採択

大名美恵子

稼働45年超の東海第二原発は、原子炉周囲の機器の劣化が懸念される。東日本大震災のように過酷事故を誘発すれば地域の壊滅、避難者のふるさと喪失、さらには首都圏の機能喪失にとつながる。

賛成

請願第4-2号

日本原子力発電東海第二発電所の再稼働に反対する請願(原発再稼働に反対する全国自治体議員の会)

反対

新政とうかい 大内則夫

昨年8月の読売新聞世論調査では、原子力発電所の運転再開について「賛成」58%「反対」39%である。最近では住民の原子力に対する理解が深まっていると感じている。よって、原子力発電所の運転再開に賛成する。

不採択

阿部功志

安全は多数決で決めてはいけない。原電の工事、避難計画、実行に遠い核廃棄物の処分など、不確定要素を理由に判断するのは非合理。事故の危険がある原発は絶対悪。将来世代に原発の負の遺産を押しつけてはならない。

賛成

請願第5-5号

「誰一人として取り残さない避難計画ができるまでは東海第二原発の再稼働は認めない決議」の採択を求める請願書(未来への風いちから)

反対

新政とうかい 飛田静幸

避難行動要支援者個々の事情に即した個別避難計画が作成されている。避難訓練時に要支援者と共に計画の検証を行っており、今後も避難訓練を通じて改善を図ることが重要。まずは避難計画を公表し実行性を高めるべき。

不採択

光風会 恵利いつ

多くの被災者との交流を通し、避難弱者の実情をよく知っているが故の切実な訴えである。本村で要支援者として把握されているのはわずか87名。そのうち25名の個別避難計画しかできていない現状では当然の請願だ。

賛成